

<ラウダート・シの取り組みについて>

サレジアン・シスターズ 調布聖ヨセフ修道院

教皇フランシスコが、神様からいただいている、この大地を次の世代にも残せるように心をかけています。教会、修道会、国々等、皆が取り組んでいる今、修道会も、第24回総会議での決議事項において私たちもできることから実行するよう促されています。調布の丘の小さな修道院でも高齢の姉妹たちを筆頭に昔培った杵柄を取って頑張っています。その様子をお伝えしたいと思います。これは、まず最初の段階です。



庭に穴を掘って、残飯を投入

別の場所にも大きな穴を掘って、残飯を投入。都度、土をかぶせる。



身近にあったプランターを利用。残飯の上に「ぼかし」を次々撒いていく。ぼかし菌が発酵し、肥料完成。



バナナの皮を水に入れて、肥料液にする。



豆苗は、根っこを残し、再度発育させて三度まで利用。

使わなくなったゴミ箱の底に穴をあけて利用。土をかぶせて、虫の発生を予防。



古着をといて、切って、食後のお皿ふきとして利用。洗剤の節約と、水をよごさないため。

聖ヨセフ修道院の小さな取り組み。まだまだあります。次回をお楽しみに！